

令和3年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業

(難治性疾患政策研究事業)

「先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と
生涯にわたる QOL 改善のための総合的研究」

分担研究報告書

移行期医療における教育活動

研究分担者 稲井 慶 東京女子医科大学

研究要旨

心臓移行期医療に関する教育セミナーを開催し、専門医のみならず、関係各科や医師以外の医療スタッフの教育を行ったとともに、患者との交流も企画した。先天性心疾患の移行期医療に関するニーズと問題点について理解を深めることができた。

A. 研究目的

先天性心疾患患者で成人期に至った患者の QOL を評価し、その改善に向けて専門医の教育と育成を行う。

多職種向けのセッションなどを充実させることで、移行期医療の重要性や問題点についての理解を若い医師に印象付けることが可能であったと考えられた。

B. 研究方法

成人先天性心疾患学会において、教育セミナーを開催し、専門医のみならず、関係各科や医師以外の医療スタッフの教育を行う。また、患者団体を介して、患者の参加も促し、積極的に患者にも発言の機会を作っていく。
(倫理面への配慮) 特になし

E. 結論

多職種および患者参加型のセミナー開催で先天性心疾患の移行期医療に関するニーズと問題点について理解を深めることができた。

C. 研究結果

2021年5月29日に成人先天性心疾患セミナーを開催した。先天性心疾患の移行期医療に関する20の講演を行った。専門医育成のための教育活動としての働きとともに、多職種連携と患者とのコミュニケーションを円滑にするために、幅広い参加をえた。

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

D. 考察

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし